

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2017.2.9 No.261

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp



月2日、4・5時間程度の勤務で35万円の報酬を受け取る

増田顧問高額報酬問題 区民が提訴

地方自治法の趣旨に反する

1月27日、杉並区民が増田寛也氏の不当報酬に関する住民訴訟を起こしました。

杉並区は月35万円の定額で増田氏に非常勤の顧問を委嘱していますが、月2日しか勤務していない状態です。住民訴訟を起こした杉並区在住のジャーナリスト・三宅勝久氏は、杉並区が非常勤の顧問を委嘱したのは不当だとし、顧問の報酬については勤務日数に応じて報酬を払うとした地方自治法の趣旨に反しており、増田氏に返還を求めざるべきだとしています。

複数のマスコミがこの問題を報道しており、注目を集めています。



杉並区ホームページより

共同通信（1月27日付け）では、「増田氏は北海道と神戸市の顧問も務めるが、道と市によると、いずれも報酬は講演など職務を行った都度払っている」と増田氏が顧問を務める他自治体の事例を紹介しています。

「理解を得られない」どころか 住民意識との乖離が進む

田中区長は、増田顧問の高額報酬問題を巡り、党区議団の是正を求める質問に対し、「何日勤務、何日登庁とは仕事の成果を図る一つの外形的な要素」「短絡的なその図り方」などと答弁。

増田寛也顧問の高額報酬問題とは

■都知事選挙落選候補が突如、杉並区顧問に

先の都知事選挙に立候補し、田中区長も応援（写真）した増田寛也氏（自民・公明等が推薦）。

選挙直後の昨年9月から非常勤の杉並区顧問として招かれています。

突然の人事に「落選後の救済措置のようだ」等、不信の声が広がりました。



■勤務実態に対する高額報酬問題発生

増田顧問の9月～11月の出勤は2、3日のみとなっており、滞在時間も合計で4～8時間程度と、勤務実態がほとんど無いのにも関わらず、月額35万円もの高額な報酬が支払われている状況が明らかとなり、区民からの怒りの声が出されています。

第一回定例会・代表質問でも追及

また、「住民からは十分な理解を得られると認識している」などと強弁されています。しかし、住民の理解を得られるどころか批判の声は高まり続け、田中区長を相手取った住民訴訟が起こされるなど、問題がさらに深刻化しています。

区議会第一回定例会の代表質問において、増田寛也顧問の高額報酬問題等も取り上げ、田中区長の政治姿勢の問題点を追及します。ぜひ、傍聴にお越しください。

代表質問を行いません。
ぜひ、傍聴にお越しください!

■2月14日（火）
11時頃～
本会議2日目（2番目）

一時利用申込調整結果が示される

認可保育所入園申請 今年4月も深刻な現状

子どもたちの居場所を守る行動は「住民たちのエゴ」なのか？

一部意見の中に、公園転用保育園整備に反対する住民に対して「住民エゴ」などと心無い批判が行なわれることがあります。

しかし、遊び場の少ない都市部で、子ども達が日常的に居場所とし、地域コミュニティの要となっていた公園が、突如、奪われる事態に反対の声をあげた保護者達が「住民エゴ」と言えるのでしょうか？さらに、住民からは代替用地確保に向けた様々な提案が行なわれていることも忘れてはなりません。

一方、杉並区は極めて豊かな財政力を保持し、現在460億円を超える貯め込み基金が存在します。その基金等を用地確保のために活用せず、区政運営の失策の穴埋めに住民サービス同士が天秤にかけられる手法は許されません。緊急事態だからこそ、基金を活用し保育所用地確保に着手すべきです。

認可保育所等の利用申込調整結果 (一次) (人)

	2017年4月	2016年4月
申込者数	4249	3801
申込取下数	67	12
内定者数	2602	1751
未内定者数	1580	2038

今回の申込者数は4249名（前年比448名の増加）。

認可保育所内定者数は2602名（前年比851名の増加）。

昨年、待機児童解消緊急対策が示され、子ども達の利用頻度の高い公園が、住民合意も無く保育所に転用される等、整備用地確保を巡り、重大な問題となりました。今回の緊急対策は2年度（1年度目は2013年）であり、短期間に緊急対策を連発せざるを得なかったことは失政に他なりません。

認可保育所未内定が1580名：2017年4月入所の認可保育所等の利用調整（一次）結果が明らかとなりました。年々、保育需要は増加し続けており、依然として保育待機児童問題は深刻な状況です。

育メン日誌

節分の豆まきも父子にて

怖がらせ過ぎにはくれぐれも注意！

2月3日の節分は父子で迎えました。代表質問準備や議会対応、育児に家事にインフルエンザ騒動（結局、娘もかかりました…）と、もう目の回る忙しさで、豆まきの準備も出来ない状態でしたが、実家がミニ豆まきセットを手配してくれていました。ありがたや～。

例年では私がプロレス研究会時代のマスクをかぶり鬼役に。家に入る前からマスクをかぶり、突然、家に押しかけるため、子どもたちはパニック状態で豆をまきます。

しかし、今年は妻が不在のため、あまり怖がらせると夜泣きやら何やら、大変そうです。

そのため、事前に子ども達の目の前でマスクをかぶったのですが、結局は写真の有り様に…（笑）。

この後、しっかりと鬼に豆をぶつけて追い払い、歳の数以上に豆を平らげました。



これぞ、頭隠して尻隠さず…。

都有地活用が加速 党都議団の論戦が実る

東京都では「待機児童解消に向けた緊急対策」（平成28年9月発表）に基づき、都有地を活用した保育所等の整備を推進するため「都有地活用推進本部」を設置し、全庁横断的な取り組みが実施されています。この間、都からは、各局が所管する都有地について、保育所等として活用可能性がある土地の情報提供が行なわれています。

日本共産党東京都議団は、再三に亘り、都有地活用の推進と各自自治体への情報提供を進めるよう求め続けてきましたが、小池都知事のもと、都議団の論戦が実り始めています。

都議団と連携し、認可保育所整備促進に向けて力を尽くします。

区市町村への都有地の情報提供（杉並区抜粋）

所在地	面積	所管局	備考
荻窪5丁目	263㎡	教育庁	新規
下高井戸3丁目	419㎡	水道局	新規
下高井戸3丁目	712㎡	水道局	新規
梅里2丁目	273㎡	水道局	新規
西荻北2丁目	476㎡	水道局	新規※

※西荻北2丁目用地は保育所整備を検討